

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第3回豊島区民間保育所事業者選定審査会
事務局（担当課）		子ども家庭部 保育課
開催日時		令和3年3月22日（月）午後1時～午後5時
開催場所		豊島区役所本庁舎5階 507会議室
議 題		<p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p>（1）池袋第三保育園事業者選定</p> <p style="padding-left: 2em;">（ア）池袋第三保育園保護者からの要望報告</p> <p style="padding-left: 2em;">（イ）視察施設・日常保育映像の印象</p> <p style="padding-left: 2em;">（ウ）専門審査意見開陳</p> <p>（2）プレゼンテーションおよびヒアリング</p> <p>（3）第二次審査審議（一次審査通過法人の評価）</p> <p>（4）評定（二次審査対象法人決定）</p> <p>（5）答申作成</p> <p>（6）区長へ答申の伝達</p>
公開の 可否	会 議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 （非公開・一部非公開の場合は、その理由） 豊島区行政情報公開条例第7条第5号の規定による。
	会 議 録	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部非公開 （非公開・一部非公開の場合は、その理由） 公正な選定審査に支障を及ぼす恐れがあるため、議事における発言者は非公開とする。
出席者	委 員	箕輪 潤子（武蔵野大学准教授）、善本 眞弓（東京成徳大学教授）、末吉正伸（施設整備担当部長）、澤田 健（子ども家庭部長）
	事 務 局	保育政策担当課長、保育課長、保育計画グループ係長、公立運営グループ係長、保育計画グループ主任

※発言者は委員を【ア】～【エ】、事務局を【事】と表記する。

(1) 開会

委員が一名欠席だが、定足数を満たしている。

(2) 進行説明

第二次審査対象2法人について審査を行う。

(3) 池袋第三保育園保護者からの要望報告【資料3-1】

- ・第2回審査会後からの追加要望を追加している。
- ・追加事項の要旨は以下のとおり。
 - ・職員の平均経験年数が短い事業者は不安である。
 - ・現在より保育の質が低下するのは困る。
 - ・保育料、保育料以外にかかる料金をまとめてほしい。
 - ・引継ぎのスケジュールが心配。また、民営化前の3月には、4月以降の新クラス担任が最低1名ずつは既存保育士と同レベルまで信頼できるようにしてほしい。十分な引継ぎ期間を確保してほしい。
 - ・資料が統一されておらず見づらい。WEB閲覧できるようにしてほしい。

(4) 視察施設・日常保育映像の印象【資料3-2、3-2-2】

- ・各委員の視察記録を集約して記載し、良かった点は青字、気になった点は赤波線で表記。
- ・A法人については、安全や清潔、健康への配慮がよくなされており、保育者や子どもに笑顔が見られた。一方で、玩具や物品の種類や量が子どもの発達とあっていない様子、物品の扱いが雑多である面が見られた。
- ・C法人については、野菜の栽培等に子どもが関わっている様子が見られたほか、保育者と子どものやり取りの中にも子どもの気持ちに配慮していることがうかがえた。一方で、安全面や衛生面についての課題が散見された。
- ・当日追加資料を確認した。

(5) 専門審査意見開陳

- 【イ】・A法人の特徴として独自のプログラムによる保育があるが、民営化後の池袋第三保育園でもそれを継続する意向がある。毎日のように何かしらのプログラムが用意されており、子ども達の自由な遊びを保障する遊び環境が弱いと感じた。今の池袋第三保育園の保育方針とマッチするかが不安に思われた。
- 運営法人のシステム等はしっかりしていると感じた。
- ・C法人は、子ども達の活動や遊びについての自由度は高いと感じた。食育に関する取り組みをもっとアピールしてもよいのではないかと。園内研修の充実や子ども

との丁寧な関わりなどについては、保育の質をより担保していただきたい。

【ア】・A法人は、安全・清潔に関してはかなり整っている印象である。一方で、掲示物の高さが子どもに対して高かったり斜めになっていたり、子どもの視線が弱いと感じる部分があった。保護者にとっての安心だけでなく、子どもにとってどうかという視点も意識してほしい。設定した活動と、子どもが好きな遊びをする活動という部分では、公立園の保育を引き継いでいただけるかというところで不安を感じた。

・C法人は、子ども達がのびのび生活していた。健康と安全の部分で、わかっているが改善できていないという箇所があった。子ども達の一人ひとりの遊びには耳を傾けているが、みんなで何かを考えるというところではどうか。

【イ】・C法人のこの時期の5歳児の保育について、就学前であることを考慮した環境や活動についてどのように考え配慮をしているのかが気になった。

・C法人の園長は公立園での経験を含め保育士経験が長く、安心感がある。園ごとに特色があり園長の考え方が重要であると感じたので、どういう人物が園長に予定されているかは気になる。

・A法人は、法人の理念がどこまで現場に浸透しているかが気になる。

【ア】・A法人について、低年齢児の落ち着きのある生活を担保する保育士の声掛けをどう考えるかを確認したい。

(6) ヒアリング質疑事項確認【資料3-3】

(7) プレゼンテーション

<A法人>

<ヒアリング>※A法人の発言【A】と表記する。

【エ】現時点で、園長や他の職員のキャリアはどれくらいを想定しているか。

【A】保育士17名は平均18年、園長は27年の経験がある人物を想定している。

【エ】保護者要望としてベテラン保育士も配置してほしいというのがある。10年以上のキャリアを持つ職員は何人か。

【A】約半数を想定している。

【エ】新規採用の際、人柄を重視すると言うが、どういった点を重視しているか。

【A】明るいか、コミュニケーション力があるか、という2点である。

【ウ】職員の就労条件やフィジカル・メンタルへの配慮として工夫していることはあるか。

【A】園長による聞き取りの他、法人のエリアマネージャーによる年2回の個人面談や部下による上司の評価とそのフィードバック、ストレスチェック、産業医連携などである。

【ウ】保育の質を下げない運営をどのように担保するか。

【A】26名の職員がフィリピンの教員資格を持っている。外国人対応も可能である。

- 【イ】法人独自のプログラムは、民営化の園でも実施するか。
- 【A】実施する。
- 【イ】0歳児保育を実施している園はあるか。
- 【A】認可3園、認証1園がある。
- 【イ】看護師の配置状況は。池袋第三保育園にはどうするか。
- 【A】必置でない園には配置していない。池袋第三保育園には配置する。
- 【イ】医療的ケア児等の受け入れについてはどうか。病児保育はどうか。
- 【A】可能な限り受け入れていきたい。病児保育はスペースの課題があると認識しているので、引継ぎの段階で確認したい。
- 【イ】保護者から、保育引継ぎをしっかりとってほしいという意見がある。保育士が何月から何人入るなど詳細を伺いたい。
- 【A】10月から園長、11月から副園長が入る。1月から保育士17名が順に各クラスに入って保育に参加する。2月以降に看護師や栄養士も参加する。
- 【イ】4月からも慣れた保育士をそのまま配置してほしいという要望があるが、対応可能か。
- 【A】対応する。
- 【ア】法人独自のプログラムと保育所保育指針との関係をどう考えるか。
- 【A】子どもたちが楽しんで様々な経験ができるように、主体的に活動できるように、興味関心を持って取り組めることが一番と考える。やってみたい、楽しそうだなと思えるよう、テーマは決めているが自由にやっていいんだよというスタンスで取り組みたいと考えている。
- 【ア】自由とは。テーマも子どもが決めるのか、やるやらないが自由なのか。
- 【A】やるやらないも子どもたちの気持ちを大事にしたい。興味を引き出すところからである。例えば造形では材料を集めて提供した中で、子ども達が自由に発想して組み立てるなどである。
- 【ア】保育士ではなくあえて講師を入れている理由と、その場合の保育士の役割は。
- 【A】その道のプロとして本物を体感する機会を与えたいという思いからである。講師だけでなく保育士も一緒に入り、輪から離れた子を見るなどしている。社員に講師がいるため、保育士とコラボして本物を提供していく。
- 【ア】保育士とのコラボとは。
- 【A】ペアで英会話をするなど。英語講師は英語しか喋らない。また、日々の保育における突発的な事態についても、外部講師でなく社員のため、気軽に調整ができる。
- 【ア】子どもたちの興味関心と、法人独自のプログラムのつながりはどう考えるか。
- 【A】子どもたちが何に興味を持つかは人それぞれである。そのため、たくさんの機会を与えてあげて、何か一つでも興味関心につながるものがあればいいなという思いである。また、何かできた時にはできた喜びを感じることで自己肯定感につながる。参加してくれれば楽しいんだよというのが分かってもらえると考えている。

【ア】職員の元気があるのは良いことだと思うが、低年齢児には落ち着いた環境も大切だと思う。低年齢児の先生についてどう思うか。

【A】保育士の声より子どもの声が響く保育園、というのを大切にしている。

【ア】既存園の課題はなにか。

【A】第三者評価において、環境や研修は充実しているが、一人ひとりの目標設定が組みえないという声があった。個人別の目標設定が課題である。

【イ】園庭の利用方法をどう考えるか。

【A】自然が豊かだと感じている。子ども達が自然に関われるようにしたい。

【イ】園内研修の取り組みについて伺いたい。

【A】法人の研修計画を立てる段階で、各園ごとに参加したい研修を挙げてもらう。園内では、月一回のミーティングにおいて課題を共有している。

【イ】保育の質の向上についての取り組みはどうか。

【A】職員の意見を元に話し合う。

【ウ】アレルギー児への対応はどうか。

【A】命に関わることなので、提供前の指差し確認など、ヒューマンエラーがないようにしている。過去にトラブルはない。

【ア】おむつ替えや着替えにおける配慮は。

【A】羞恥心に配慮して、見えないところで行うようにしている。

【ア】視察の際に着替えが行われていたのはたまたまか。

【A】目隠しや、出てくださいという声かけがなかったのはよくなかった。

<C法人>

<ヒアリング>※C法人の発言【C】と表記する。

【エ】他市に関する報道について伺いたい。

【C】グループ会社のことではあるが、事実誤認があり、誠に遺憾である。司法の対応を予定している。

【エ】グループ会社だが無関係ということではないか。

【C】同じ子育て関係事業を行う会社として、全く関係がないとは思っていない。

【エ】園長や保育士のキャリアはどれくらいを想定しているか。

【C】園長候補は、公立園で18年、社会福祉法人で6年、立ち上げから経験がある。既存園の平均としては、新卒が1~2名、3~5年目が2名程度、5~10年目が3~5名、10年以上が2~3名というところである。経験や年齢のバランスを見ながら配属する。

【エ】他園からの異動は何割程度の想定か。

【C】2割程度になる。主任・リーダー職を想定している。そのほかは中途採用だが、早く採用できた場合は別園で採用した後、異動という形になる。

【エ】園長候補の園長経験は。

- 【C】今年度を終えて丸7年である。
- 【ウ】離職率は。
- 【C】6%～である。
- 【ウ】就労条件やメンタル面におけるフォローアップはどのようにしているか。
- 【C】園長がマネージャーに相談できる体制がある。階層別・経験年数別・職務別研修を設けている。サークル・クラブ活動もある。
- 【ウ】マネージャーからのフィードバックやケアの内容は。
- 【C】職員は直接マネージャーにも相談できる。必要に応じて産業医面談につなげる。
- 【ウ】現園の継承、保育サービスを下げずに運営することについてどうか。
- 【C】現園の保育内容を引き継ぎたいというのが根底にある。利用者に安心してもらうことが大切である。保育所保育指針を体現できるような保育を大切にしていく。地域とも協力して行いたい。自治会に入会しての活動等も行う。
- 【イ】医療的ケア児、病児保育の受け入れについてはどう考えるか。
- 【C】この場で明言はできないが、現場として必要性は認識している。
- 【イ】延長保育の時間は。
- 【C】20時まで実施可能である。
- 【イ】視察した現園での課題に対してどう対応するか。
- 【C】現場ですすでに対応を開始している。
- 【イ】園の独自性がある法人と認識している。それについてどうか。
- 【C】地域ニーズに合わせたサービスを提供していこうという思いがある。
- 【イ】保育の質の向上に向けた園内研修についてどう考えるか。
- 【C】月1回の職員会議での小テスト等の積み重ねのほか、保育所保育指針の読み合わせなどを行っている。
- 【ア】独自プログラムの頻度、対象等は。
- 【C】体操は3～5歳児に月2回程度60分、リトミックは1～5歳児月1回程度20～30分、異文化体験はオンラインで三か月に1回、動画等を活用してのものは5歳児を対象に月1回程度60分。
- 【ア】特色ある保育と言いながら、基本は保育所保育指針に沿った保育を実施しながら、ということか。
- 【A】まだまだ職員の力不足があるかもしれないが、それを補完する意味でも幅広い体験をしてほしいと考えている。
- 【ア】園庭の活用と散歩のバランスは。
- 【A】園庭は普段の生活の場であると考え。自由に遊んだり身体を動かしたりできる場であり、ゆったり過ごす場でもありたい。散歩は、年齢なりの目標を持って行いたい。
- 【ア】系列園で園庭のない園は。
- 【A】ビルイン型が3園あるので、そこは園庭がない。

- 【ア】法人内で園庭の使い方が難しい方もいるのではないかな。
- 【A】過去の経験等を参考にしながら活用していきたい。
- 【ア】5歳児の保育・経験において大事にしていること、現園の課題はなにか。
- 【A】子ども達自身が体験できる環境を整えること等をよく話している。体験を言語化出来たらよいと考える。課題としては、施設が狭いので保育の幅が狭くなりがちなのでしっかりした体に育てるところが弱いかもしれない。
- 【ア】今年度の具体的な事例はあるか。
- 【A】夏祭りが中止になったので、“なぜ夏祭りをやっていたか”を話し合う中で、子どもから食品出前に関することをやりたいという声が上がった。給食の職員とも協力してそれを実施した。
- 【イ】保育引継ぎについて、保育士がクラスに入るスケジュールは早められるか。子ども達との信頼関係に関わる。
- 【A】一月からを予定しているが、要望に沿って早めることは可能である。
- (8) 評定（二次審査対象法人決定）
- ・運営予定事業者は選定なしとする。
- (9) 答申作成及び区長へ答申の伝達
- 【エ】驚いているが、安全性その他のことを考えると仕方ない部分もある。
- 【ウ】現場が混乱することを防いだとも考える。
- 【イ】公立保育園の民営化によって、質が良くなれないといけないという点では安どしている。
- 【ア】難しい判断であった。付帯意見をつけて改善される、指導により改善の見通しが立つのであればということだが、その前の段階という印象である。不安を払拭できない部分があった。
- 公立園はスタンダードであり、民営化は公立以上になるべきであるが、質を担保できる理念があるか、子どもや子育て家庭のために信頼関係を築けるか、対外的に説明がしづらいつ感じていた。
- 【事】今後のスケジュールについては、保育引継ぎの期間を十分に確保するため、民営化を一年先送りし、令和3年度に再度事業者選定を実施するスケジュールを想定している。審査経過も含め、保護者に丁寧に説明し、理解を得る必要がある。
- 答申の付帯意見及び審査講評については、審査会での意見を元に事務局で素案を作成し、後日内容をご確認いただいた上で、区長答申を行う。

※ 審議経過の記載が2頁以上にわたる場合は、右肩にNo.を付す。

<p>会 議 の 結 果</p>	<p>・事業予定者は選定なしとなる。</p>
<p>提出された資料</p>	<p>資料3-1 保護者からのご意見 資料3-2 視察施設的印象 資料3-2-2 報道に関する追加資料 資料3-3 ヒアリング質問事項等 資料3-4 答申書（案） 参考3-1 民間保育所事業者選定審査会（池袋第三保育園）委員名簿 参考3-2 池袋第三保育園_運営事業者選定審査基準 その他 事業者応募による審査書類（A法人、C法人ファイル）</p>
<p>そ の 他</p>	